

俳人協会六十周年記念

北海道支部 第十四回俳句大会成績（紙上）

北海道知事賞

樹の齡磐の齡や滴れり

苫小牧 名取 光恵

北海道議会議長賞

ラ・フランス一個描きて遺筆なる

札幌 小松 正幸

札幌市長賞

根の国に父はは待たせ温め酒

小樽 橋本 末子

札幌市教育長賞

信長の髭を手入れの菊師かな

岡崎 水野 幸子

北海道新聞社賞

明日も又来るかの様に卒園す

北広島 高田 小幸

朝日新聞社賞

渡り鳥逢はねば人の遠くなる

札幌 辰巳佐知子

読売新聞社賞

朝顔や路地の落書消さずおく

札幌 斉藤みつ子

HBC北海道放送社賞

熊の分残しリュックに山葡萄

音更 山西 信一

STV札幌テレビ放送社賞

雪しきり沖に島とも礁とも

函館 斉藤ふじお

俳人協会北海道支部賞

ひとりづつ渡る木の橋小鳥来る

旭川 佐藤れい子

鍬鎌を納屋にねかせて星まつり

札幌 久保田哲子

記憶みな母につながる更衣

北見 土屋加代子

雪虫や足早に来る往診医

石狩 畑中 貴子

冬銀河還らぬ島に祖父の墓

恵庭 関 静穂

麦の芽の青空までの百町歩

札幌 陽 美保子

手招きの庭師の先に小鳥の巢

函館 広瀬むつき

停学の訳など聞かず大根干す

音更 徳田 則子

三人の蛇の長さに違ひあり

北見 花木 研二

秋蝶の日差し挟みて翅を閉づ
絶るものなき世を鳴いて残る虫

札幌 小島 康司
函館 高木 則子

トンネルの先に一点雪解光

札幌 岡村 有子

階段を二段上がりに夜学の子

旭川 小林布佐子

左記は一人一賞となっておりますので、高得点句ですが「賞外」となりました。

シベリアを誰にも言はず兄の冬

北広島 高田 小幸

針箱に母の指ぬき一葉忌

岡崎 水野 幸子

本部選者選

權未知子特選

樹の齡磐の齡や滴れり

苫小牧 名取 光恵

角谷昌子特選

北洋の怒濤をかぶり鮭を追ふ

札幌 菅原 湖舟

臺目良雨特選

三人の蛇の長さに違ひあり

北見 花木 研二

福永法弘特選

炙られて火花を纏ふ初鮎

札幌 田森つとむ

道内選者

飯川久子特選

ちゃんばらの始まる予感軒氷柱

苫小牧 沼田 泥舟

石井こう子特選

手招きの庭師の先に小鳥の巢

函館 広瀬むつき

生出紅南特選

不器用な素数の孤独虎落笛

苫小牧 坂口 悦子

大内鉄幹特選

雪しきり沖に島とも礁とも

函館 斉藤ふじお

岡澤邦彦特選

電柱に電工ひとり雪猛る

札幌 滝谷 泰星

尾村勝彦特選

花の下煙草の毒を旨そうに

新ひだか 岩崎 久子

金行康子特選

飲食の音とめて聞く春の雪

札幌 辰巳奈優美

金田野歩女特選

麦の芽の青空までの百町歩

狩野和子特選

捨てられし猫のしている十三夜

河原小寒特選

明日も又来るかの様に卒園す

久保田哲子特選

残欠の石のまひるま浜ゑんど

熊谷佳久子特選

リリースの鮎の銀鱗水の秋

清水芳堂特選

山嶺の秋ほしいまま今朝の窓

高橋千草特選

枯深し木に坐り木をひさぐ人

辰巳奈優美特選

沖晴れの浦廻ゆるがしラッセル車

田湯岬特選

猟銃の先の命や冬の虹

大郷石秋特選

針箱に母の指ぬき一葉忌

土門きくゑ特選

子に遺す家なり芒活けてをり

中村英史特選

無観客打球残響雲の峰

中森千尋特選

熊の分残しリュックに山葡萄

中屋吟月特選

ひと搔きに掛け声ひとつ雪を搔く

名取光恵特選

栞紐引いて夜長の灯を落とす

成田智世子特選

鮭骸うぐひの群に弔はれ

西村榮一特選

空乾く昼の十字路寒鴉

橋本和男特選

停学の訳など聞かず大根干す

札幌 陽 美保子

帯広 三島 裕子

北広島 高田 小幸

札幌 森田佳代子

函館 高山 京子

札幌 藤田 紀子

札幌 陽 美保子

札幌 森田佳代子

北見 渡部 彩風

岡崎 水野 幸子

札幌 奥野津矢子

札幌 熊谷 幸子

音更 山西 信一

札幌 吉野 早苗

札幌 奥野津矢子

天塩 木谷 洋子

札幌 滝谷 泰星

音更 徳田 則子

橋本末子特選

遅しく昭和を生きて敬老日

畠典子特選

手招きの庭師の先に小鳥の巣

花木研二特選

麦の芽の青空までの百町歩

林佑子特選

シベリアを誰にも言はず兄の冬

平間純一特選

不器用な素数の孤独虎落笛

森淳子特選

シベリアを誰にも言はず兄の冬

山下敦特選

馬術部の門扉に鎖山眠る

陽美保子特選

吾が生のなごりの音とも秋しぐれ

上土幌 坂本 光江

函館 広瀬むつき

札幌 陽 美保子

北広島 高田 小幸

苫小牧 坂口 悦子

北広島 高田 小幸

札幌 小杉 好恵

小樽 橋本 末子